

2023 HG競技委員会（第2回）議事録

2023/10/29（日） Zoom

委員：牟田園、櫻井大、鈴木、箕谷、中西

担当理事：濱田

■10/29（日）20:00～

アジェンダ

- ・ ランキングシステム（再来年に向けた準備検討）
- ・ 海外獲得ポイント（再来年に向けた準備検討）
- ・ クラス5ランキングのカテ1の扱い
- ・ 選手ではないスタッフが競技委員長／集計を行うための環境づくり
- ・ 来年のポイント大会予定
- ・ 委員入れ替え

■Fledge来年度の計画(報告:櫻井大)

10月:七曲練習会の実施(済)

11月:七曲大会開催(済)

11/8:キスカのセミナー(講師は服部)

2月:スポーツクラス大会を検討中(西富士)

※1月開催はシリーズ大会と近く、人が集まらない懸念あるため2月開催で検討

2月:上級者向けフライト講習会(足尾)

5月:信濃平で練習会を検討中(25年度に大会開催検討中)

※来年5月大会開催の案もあった、冬の時期が飛ばないこともあり、いきなり大会開催はリスクが高いと判断。

8/初:フレッジ協力のもと連年通り南陽開催予定

9月:足尾スポーツクラス

9月:砺波で大会開催検討

マンダラ：セミナーをどうするか、大谷翔平風にソアリングやグライド等のセミナーを年に3回程で検討中

●ルディの来日計画について

場を設けて具体的に何をするか、日程等を確認

⇒牟田園、櫻井大

●尾神について(濱田理事)

尾神でハングの大会開催してほしいと地元(永井さん)からの提案

⇒一回フレッジで練習会を検討

※4月にフレッジでツアー組んで秋に練習会ができれば理想

下記内容含め地元への確認事項を洗い出し濱田理事に確認して頂く

- ・ パラのLDは難しいためどこか田んぼ借りてできないか
- ・ 開催日は田植え前か稲刈り後が理想

■世界選手権の歴史の更新について

Class1は完了(宿題事項は済)

Class5と女子世界選がないので今後検討

■GAP2018⇒2023に変更点について

セクション7にルール之差分が掲載

●点数について(2020～)

同点を避けるため小数点を表示(Civil総会にて決定)

●タスクストップの判断について(2020～)

スコアバックタイムが大きく成立しないことが多かったため、タスクストップを判断する時間が変更

変更前：Cat1は60分、Cat2/女子世界選は90分

変更後：1時間とノミナルタイム/2の小さい方

⇒競技委員長は把握しとく必要があり、競技規定に記載する必要あり

●減点を与える順番について(2021～)

Civil総会にて下記順番で決定

- 1.フライング
- 2.パーセンテージでの減点
- 3.絶対値での減点

●高度判定について(2023～)

ライブトラッカーのGNSS搭載により気圧高度からGNSS高度判定に変更

Cat2に関してはどちらか選択できる

国内ではGNSS対応のGPSを持ってる人が少ないためCat2は引き続きQNHを継続検討

※GPS高度の垂直方向の誤差は20～30m、GNSS高度だと数10cm単位と言われている

※現在トラッカーはDocomoの3G回線を使用しているが2025年3月に3Gサービスは終了する。

トラッカーは2024年末に4G端末に切り替える予定

※最新のバリオ (AIR、フライマスター) やスマートフォンは殆どがGNSS対応している

■FSの変更点について

- ・飛行禁止空域の減点方式が変更された
エアスペースの外側100mから0mまでで線形に減点率を変える
水平方向も垂直方向も共通のルール
(例) 100m : 0%、50m : 50%、0m : 100%

- ・第2パイロン以降をSSSに指定することが可能になった

■ランキングシステム及び世界選抜の方法について (25年度に向けた準備検討)

課題: 国内ランキング及び世界選抜ランキングの見直し(25年度以降)

どのようなルールにするべきか競技委員メンバー間で意見、方向性について議論

⇒今回の意見をもとに変更したい内容があれば各々2月(Civil総会前)にルール提案を行う(ランキングの指針を決める)

<以下各競技委員の意見>

●現状の全体的なルールについて意見

中西

○世界選選抜に推薦枠を設けてはどうか

下記のような観点で世界選メンバー上位5人(もしくは4人)+(競技委員?)で話し合っって1人(もしくは2人)代表選手を決める

世界選メンバーが何を目標に行くのか決めて1人選んでもよいのでは? 世界選選抜をルールだけで決める必要はないと思う

- ・国別を目指さずメンバー
- ・若手実力者の経験を積ませる
- ・開催エリアの経験があって世界選に貢献できる人など

箕谷

○世界戦選抜に推薦枠を設けたい

下記理由でセーフティな意味も込めて推薦枠を設けても良いのでは?

- ・現状の世界選選抜ルールで選ばれる代表選手が本当にベストメンバーなのか
- ・コロナの影響もあって今回はトリッキーな気象条件(1本勝負)で決まった中で、現状のルールの中から上位を選ぶのは違うのでは?
- ・トリッキーな条件が多くと本当にベストなランキング付けをしたい

鈴木

○日本ランキングと世界戦選抜のランキングを一緒にしたい

・上位の人は世界戦ランキング、中堅以降は日本ランキングを気にしてて、同じ競技をしているのに分断されてる感じがする
(過去ヒート制と大会ごとの成績でのランキングが並行していた時代)

- ・みんなが平等になるルールが良い
- ・中堅以降が楽しいランキングと上位の人が納得いくランキングの付け方は一緒にするのは難しいとも思う

○採用本数を増やして競いたい

- ・いつでもどんな条件でも強い選手がわかるようにするべき
- ・偶然出た大会で偶然良い成績を取った人が評価されるのは納得感が薄い
- ・方向性としてはヒート制ではなく、過去にあった大会ごとのポイントのほうがしっくりくる
- ・ヒート制にするにしても採用本数を増やすべき

櫻井大

○日本ランキングと世界戦選抜のランキングを一緒にしたい

- ・上位の人は世界戦ランキング、中堅以降は日本ランキングを気にしてて、同じ競技をしているのに分断されてる感じがする(過去ヒート制と大会ごとの成績でのランキングが並行していた時代)
- ・日本で不公平さをなくして納得ある順位付けにしたい
 - 1~6位を実力順で選ぶのではなく、10~40位くらいの人が納得できる順位付けであるべき(両方できるのがベスト)
- ・ヒート制の採用本数を増やしたい
- ・バラのランキングや他国はどういうランキングをしているのか興味がある

牟田園

○世界選は国別を重視したい、日本チームが表彰台に立つのが見たい

- ・数年前にパラがアジアゲームで優勝した際は、業界も盛り上がったし、社会的なインパクトもあった
- 現実的に目指せるゴールの設定が重要

もちろん世界チャンピオンが出るのが望ましいが、現実的には厳しいのでまず

目標として、国別で表彰台に上がることが手の届くところ

○ポイントを持って人が有利になってるのに不公平さを感じる

勢いのある若い人が出てきた際に代表になれるような仕組みが必要

濱田

- ・公平に戦えるポイントシステムがあって、強い選手が代表になればそれがベスト
- ・世界選で戦うには海外獲得ポイントも活かすべき、ただし海外獲得ポイントも入れすぎると、公平さは失われるので検討は必要

●海外獲得ポイントを増やすことについて(再来年に向けた準備検討)

鈴木

- ・国内の採用本数について、前半の大会で高得点を取ると後半大会での点数(成績)を気にする必要がない環境が良くないと思う
- ・海外獲得ポイントも多く海外の大会出てる人には今のルールでは採用本数が少ないと思う

櫻井大

- ・日本のサラリーマンフライヤーが楽しめるようにしたいので、海外獲得ポイントは増やしたくない思いがある

中西

- ・海外獲得ポイントは海外で多く飛んでる人に対して増やしてよいと思う
- ・海外獲得ポイントを増やすと日本のランキングの公平さは失われるので、国内の本数も増やして帳尻を合わせたらよいと思う

牟田園

- ・海外で点数を取れるということは大事、チームで見るともっと優遇されるべきだと思う
- ・現状はヒート制と海外のポイントを調整して合算していて、無理がある集計方法となっているため変えるべきだと思う
- ・海外獲得ポイントは世界戦選抜が6枠あるとして、1枠をWPRSの枠にして、ワールドランキングの1番良いやつを。
国内ランキングでは海外獲得ポイントは一切認めずに国内だけでやる。

濱田

海外ポイントは海外経験を活かすために必要

ただ国内にしか出れない人のモチベーションが下がらないように世界選抜と国内ランキングは分けたほうが良いのではと思う

●ヒート制およびヒート制の本数を増やす案について

- ・どれくらい本数増やすとメンバーが入れ替わるのかシミュレーションして確認が必要
- ・平均的に点を取る人や、600~700点をコンスタントに取る人を重視する方向性にしてもよいのか検討する必要あり
- ・ヒート制にすると早い段階で高得点を取ってしまえば、以降は低かろうが関係なくなってしまう
 - 以降の大会の価値が下がってしまう恐れがある

●ヒート制になってからの世界選選抜について

ヒート制で世界選抜をやるようになってから実際どうなのか、狙った結果になっているのか?

- ・世界選抜に選ばれる顔ぶれは昔のほうが納得した気がする
- ・選ばれるメンツはヒート制に限らずどのようなルールでも変わらない
 - シミュレーションで検証済みで上位の5人は変わらない、6人目がどうなるかくらい

ヒート制を作った目的の一つに盛り上がってほしいという意図があったが実際はそうになっていない

●シードについて復活させる必要があるか

復活の意見はなし

●ワイルドカードについて必要かどうか

反対意見

- ・日本の席が減るのはどうなのか
- ・使ってる人は少ないからいらぬのでは
- ・ワイルドカードでいきなり代表獲得は極端なのでは？

賛成意見

- ・プレに行って成績を残せる人は本選でも成績を残せる人のために絶対に必要
- ・選手目線かというと、プレで代表獲得すると国内の大会に集中せず、遠征準備等の別のことに集中することができる
- ・ワイルドカードをなくすのは強い反発が出ると思う

⇒来年度に結論を出す

●指針について

○世界戦選抜のランキングについて

「誰がランキングの上位になるようなルールにすべきか」あるいは「誰が世界戦選抜に選ばれるようなルールにすべきか」

- ・世界選手権で個人で勝てるメンツなのか
- ・世界選手権でチームで勝てるメンツなのか
- ・国内の(何を重視した)メンツなのか(国内の盛り上げ等)

○大会計上の本数を増やすかどうかについて

日本の本数、海外獲得ポイントを増やすことに対して確認するために必要な情報とは？

- ・過去の大会の成績
- ・今回の世界戦の反省点は？
- ・選び方が妥当だったのか？平均点を出してくれるのか、1発屋が欲しかったのか

⇒データ見るかつ、実際出たメンバーの意見を聞くのも必要

●まとめ

- ・世界選選抜に推薦枠はどうか
- ・日本ランキングと世界選抜ランキングを一緒にしてはどうか
- ・分けると目的に合ったランキング付けができる
- ・本数を増やすのはどうか⇒サラリーマンが難しいが価値は上がる
- ・WPRSを採用できないか

■委員入れ替え

来年度の入替はなし

- ・今のメンツに上位のメンバーがいないので観点の偏りが出てしまう
- ・6人に増やしてもよい

■来年のポイント大会予定

紀ノ川が日本選手権

再来年は南陽か足尾か

1月：西富士

3月：板敷

4月：足尾？

8月初旬：南陽

11月：紀ノ川

■選手ではないスタッフが競技委員長／集計を行うための環境づくり

課題

- ・競技委員長をやってくれる人が減ってきている
- ・競技委員長が選手兼任でできない

競技委員長の役割

- ・競技の責任者
- ・問題が起きた時の対処
- ・大会の仕切り

競技委員長/集計をやったことがある人

競技委員長：大沢、櫻井大、牟田園、板垣

集計：牟田園、櫻井大、鈴木(由)、瑠璃、木内

櫻井大

- ・副競技委員長を設けては？
- ・コアな部分だけ競技委員長、他は選手兼で副競技委員長にしてもらうのはどうか
- ・ルールは競技委員長、その他は副競技委員長でできないか

牟田園

- ・集計は遠隔でもできるので、競技委員長がルールを把握しとけば、遠隔でやってもよいのでは？
- ・来年から集計ソフトが変更になるので、そのタイミングで集計の講習会を各エリアから何名か招集して実施

マニュアルを作って講習会を実施

⇒具体的な内容を牟田園、櫻井大で議論

■クラス5のランキングルールのカテ1の扱い

課題：現行のランキングルールでは対象大会がcat1も含める/含めない両方の解釈が取れるようになってしまっている
意図しない記載となっており、cat1も含めた文言に修正※過去cat2のみの集計の実績なし

⇒次回Class5の大会がある西富士で展開

参加資格について

パイロット証になってるのでXCPに変更

そもそもクラス1と5で分けてる理由は？

⇒鈴木確認、Class1と同じであればClass5のルールからは削除

■ルール変更について

- ・タスクストップ時のスコアバックタイム
旧：Cat1は60分、Cat2/女子世界選は90分
新：60分とノミナルタイム/2の小さい方

- ・クラス5のランキング計算にCat1大会を含める

- ・クラス5の大会参加資格をPアップからXCPアップに変更する

- ・初めてCat2の大会に出場する選手はCivlサイト（civlcomps.org）でCivIIDを取得しなければならない
CivIIDのない選手はWPRSの対象外となる

■継続課題

<全体>

- ・ランキングシステムについて変更したい内容があれば各々2月にルール提案を行う
- ・ハングシリーズのポイントの有効人数の基準値を変更する

<濱田さん>

- ・尾神でのハング大会の要望について永井さんに詳細を確認する

<牟田園>

- ・AirScoreがリリースされた後に国内で講習会を企画する
- ・大会スタッフ（競技委員長、スコアラー）の育成について、櫻井とも議論して方向性を示す

<櫻井>

- ・FS2023でのCTR判定について検証する
- ・ルディの来日について牟田園含め計画を立案する

<鈴木>

- ・規則の改定
- ・ハングの歴史編纂企画の概要・目的を整理してHPに掲載する。
- ・海外獲得ポイント換算規則に参照月の規則を追記する。
- ・Class5の参加資格のルールの確認(鈴木)

<箕谷>

- ・フライトコンテストに宣言地ゴールを検討する。
宣言3TP距離を追加候補にする。運用方法は継続検討。

<中西>

- ・大会受付時のシリーズ登録情報アップデートのやり方を見直す
→JHF事務局に更新をお願いするのは難しい。
HP上で選手自身に登録してもらうシステムを作る。→時間と手間がかかる。
11月中に別案を考える。